

学校教育目標 「つよいきずなで よさをのぼそう」
重点目標 「すすんで やる子」

成長が見られたこの一年

校長 望月 秀一

明日、2月3日は節分、4日は立春で、暦の上では春になります。1月30日には、神戸小に小雪が舞い、子どもたちは大はしゃぎで運動場を走り回ったり、傘を逆さまにして雪を集めたり、冬の寒さを忘れて楽しい時間を過ごしました。



1月は、インフルエンザの猛威が子どもたちに拡がり、学年閉鎖に止まらず、学校閉鎖にまで及んでしまい、保護者や地域の皆様に大変ご心配をお掛けしました。今年のインフルエンザは、B型、A型が同時に始まり、報道等によれば、一度かかった人ももう一度かかってしまう可能性が高いと言われています。学校としましては、引き続き手洗い、うがいの徹底と、部屋の喚起をこまめに行っていきます。ご家庭でも、大変ですが、子どもたちの健康管理をよろしくお願いいたします。

31日には、今年度、最後の授業参観があり、大勢の方々に参観していただきました。ありがとうございました。1日の朝礼では、私から見た授業の様子を子どもたちに伝えました。

- ◆縄跳びを一生懸命練習して、自信を持って跳べるようになった1年生。
- ◆みんなの前で、手作りおもちゃについて、長い説明文を書き、しっかり発表した2年生。
- ◆相手のことを思いやりながら、音楽に合わせて楽しく、生き生きと活動した3年生。
- ◆バケツで育てた稲について、情報機器を使い、仲間と協力し発表の仕方を工夫した5年生。
- ◆素早い行動で男女協力して跳び箱を片付け、その後の合奏では、互いの音を意識しながら心を込めて演奏した6年生。(残念ながら、跳び箱に取り組む姿は見られませんでした。)
- ◆4年生は10歳をお祝いする2分の1成人式を行いました。自分の名前由来や小さい頃の家族との思い出、将来の夢など、家族の皆さんの前で発表しました。特に将来の夢には、一人一人の思いが込められ、みんなを笑顔にしたい。みんなを楽しませたい。人の役に立つ仕事をしたいなど、聴いていた私は、感動し嬉しくなりました。そして、家族への感謝の手紙の場面では、素敵な姿が見られ体育館が温かな雰囲気になりました。家族からいただいた大切な命をこれからも大事にしてほしいと思いました。

どの学年も一人一人の活躍や成長が見られ、すばらしい授業だったと思います。この日は、



今年度3回目の学校評議員会が行われ、評議員の皆様も参観しました。子どもたちの生き生きと活動し、成長している姿を見て、改めて教育の大切さを感じたとお話をいただきました。

今年度も、授業日数が後31日です。各学年ともまとめの時期に入ります。また、次の学年や中学を意識しての心構えも育てていきたいと思っています。まだまだ、寒い日が続きますがご自愛ください。